

平成 28 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画ととりまとめ課	まちづくり局 交通政策室	要素事業所管課	まちづくり局 交通政策室
-----------	--------------	---------	--------------

1 計画の概要

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業	計画の期間	平成 24 年度～平成 28 年度
計画の目標	J R 南武線については、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体交差化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調査等を進めている。こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の 5 駅については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。 このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進する。		
計画の成果目標（定量的指標）	・ 稲田堤駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約 22,000 人/日を約 3,000 人/日に削減 ・ 津田山駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約 5,000 人/日を約 2,000 人/日に削減		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	・ 工事期間の延伸等による計画の期間の変更を行った。（平成 28 年 2 月第 1 回変更）		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業、	3,116,000	3,116,000	189,450	6.1%	
	津田山駅周辺地区都市交通システム整備事業	1,289,000	1,289,000	234,490	18.2%	
B (関連社会資本整備事業)						
C (効果促進事業)						
全体事業費 (A + B + C)		4,405,000	4,405,000	423,939 【財源内訳】 国：141,313 市：282,626	9.6%	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	踏切歩行者数				
定義及び算定式	稲田堤駅、津田山駅の各駅改札口に隣接する踏切の歩行者数（人／日）				
その指標を設定した理由	自由通路及び橋上駅舎整備による安全性・利便性の向上度合いを評価できるため。				
当初現況値 (H24)	中間目標値	最終目標値 (H28)	実績値(確定・見込)	目標達成状況	
①稲田堤駅 約 22,000 人/日	①－	①約 3,000 人/日	①約 22,000 人/日	①未達成	
②津田山駅 約 5,000 人/日	②－	②約 2,000 人/日	②約 5,000 人/日	②未達成	
目標達成状況に対する所見	工事期間の延伸等により、自由通路及び橋上駅舎が未完成のため、事業効果が発現されていません。				
将来の見込み	自由通路及び橋上駅舎整備により目標値を達成するものと見込んでおります。				

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	
定義及び算定式	
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	・意見募集 内 容：市ホームページに事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。また、区役所等に冊子、意見書（紙）を設置。 手 法：意見書の持参、郵送、FAX、メールなどにより意見を募集。 実施期間：9月16日～10月17日 ・説明会開催 内 容：各駅の事業地周辺地区を対象に説明会を実施し、市民や駅利用者から意見を募集。 手 法：説明会で意見を募集。 実施期間：7月27日下作延小学校（津田山駅周辺地区）、10月5日菅小学校（稲田堤駅周辺地区）
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	意見者：25人 意見数：46件 <共通> ・「踏切周辺の混雑解消や通学児童の安全性確保のため、早期に事業を進めて欲しい」などの意見が多く寄せられました。引き続き次期整備計画を策定し、早期整備に向け取り組む方針です。 <津田山駅関係> ・「駅構内がバリアフリー化されておらず不便なので、工期を短縮する検討をして欲しい」「工事中の騒音・振動や、通学児童の安全対策など、周辺に配慮して施工して欲しい」などの意見が寄せられました。施工業者が決定し、施工計画を立てた段階で、改めて工事説明会を開催する予定です。 <稲田堤駅関係> ・「用地確保や工事には相当期間を要することから、暫定改札など即効対策も進めて欲しい」「駅位置を変更し、京王稲田堤駅と接続したほうがよい」「京王稲田堤駅の乗換を考慮した配置計画としたほうがよい」などの意見が寄せられました。説明会において用地制約やJRの意向など課題を説明し、引き続き、現計画で進めることを伝えております。

6 今後の方針等

総合的な所見	・指標の達成度 片側改札口の各駅について、整備により踏切を渡らずに駅アクセスが可能となるため、成果指標として「踏切歩行者数」を設定しましたが、未完成のため指標が達成できませんでした。
今後の方針 次期計画 あり・なし	・地域分断の改善、踏切を横断する児童等の安全性・利便性の確保、駅舎のバリアフリー化、駅へのアクセス向上は喫緊の課題となっており、引き続き、駅アクセス向上等整備事業の計画を継続し、事業用地の取得、工事の推進を図り、事業効果の早期発現を目指します。